



2026年 10月 8日

JFE建材株式会社

-山上スラブ厚75mmに対応したデッキ合成スラブ用デッキプレート- 「QL75-7200」のボリュームゾーンで仕様を拡大して販売開始

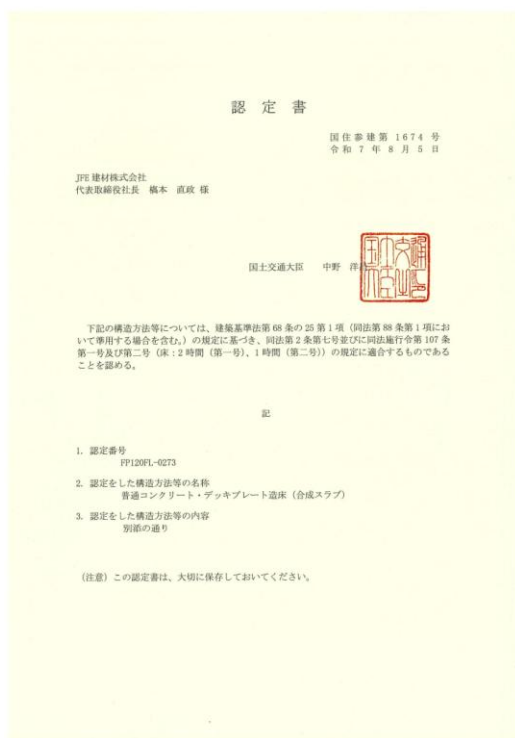
JFE建材株式会社(以下、JFE 建材)はQL デッキ新耐火認定「QL75-7200」の仕様を拡大し、山上スラブ厚75mmに対応した新商品の販売を開始しました。

【本製品の開発背景】

鉄骨造建物では、等厚スラブと合成スラブが取り合う箇所に段差が生じるため、従来は等厚スラブ側を増し打ちして対応するのが一般的でした。しかし、この施工方法は余分なコンクリート使用につながり、コスト面や環境面での課題となっていました。

当社はこうした課題を解決するため、QL デッキ新耐火認定「QL75-7200」の仕様を拡大し、山上スラブ厚75mmに対応しました。これにより、等厚スラブと合成スラブの段差を解消し、施工の合理化とコンクリート使用量およびCO₂排出量の削減を実現します。

【QL75-7200 の関連技術】



大臣認定(耐火構造床二時間)

FP120FL-0273

【QL75-7200（山上 75 mm）の特長】

（１） 高荷重仕様のボリュームゾーンを更に使いやすく

オフィスビルなど、普通コンクリート、スパン 3.2m、許容積載荷重 10.1kN/m²の範囲で、山上スラブ厚を 75mm として設計できるようになりました。

（２） 山上 75mm で等厚スラブとのレベル差をフラットに

総スラブ厚の低減（155 mm→150 mm）により、在来スラブ（150 mm）との取り合いを改善しました。



（３） 山上スラブ厚低減（80 mm→75 mm）による軽量化

山上スラブ厚の低減により軽量化および、コンクリート使用量と CO₂ 量を削減でき、経済的かつ環境に配慮した設計ができます。

注：山上スラブ厚 75 mm の場合、鉄骨梁の合成梁構造、および、鉄骨梁横座屈補剛工法（JFE スチール）の適用は別途確認が必要です。

※参考：QLデッキについて

「QLデッキ」は、デッキプレートが型枠材と構造材の機能を有する合理的な商品で、コンクリートと一体化したデッキ合成スラブは鉄骨造建築の標準的な床工法として普及しており、今後は木造建築の床への展開、普及も期待されています。

未来の安心を足元から

JFE 建材は、デッキプレートのパイオニアとして、建設現場を想い、お客様の一番近くにありたい。床商品を通して、あらゆる建築物に新しい価値を提供するため挑み続けます。

〔本件に関するお問い合わせ〕

JFE 建材株式会社 （販売）建築建材商品営業部
（技術）建築技術部

■お問い合わせフォームにご連絡ください。

お問い合わせフォーム →

